

ぶらっと散策3 第11回

水路の町と棕橋庄を巡る

日時：2022年12月8日（木） 時間：9：50 天候：晴れ

集合場所：阪急神崎川駅南口 解散：阪急庄内 参加者：31名

CA：3名 ボランティアガイド：2名（+3名）

主なコース：阪急神崎川～洲到止八幡宮～新福寺～棕橋総社獅子神事御旅所～光國寺～棕橋総社～島江北側公園（昼食）～豊中郷土資料館～庄内神社～阪急庄内駅

- ① 主なコースの間に神崎川に関わる多くの跡碑があった。渡し場・洗い場・物流（効率良い）・用水路・水門。当時はにぎやかであっただろう各跡に碑がひっそりと残されていた。



- ② 洲到止八幡宮

江戸時代に洲到止村の鎮守となった。京都石清水八幡宮から祭神を勧請した。当社には神官が置かれず氏子や景勝寺が運営にあた

った。



③ 新福寺

僧日芳が領主大嶋雲八義近の助力を得、500年間廃絶していたこの寺を建立。大嶋家の菩提寺となる。



境内の墓地には四十八番目の赤穂浪士「萱野三平」の墓がある。

(三平の父重利が大嶋家の所領棕橋庄の代官だった)

④ 光國寺

一時戦国時代に焼失。庄本村の助左衛門・庄左衛門が再建した。

当境内にも「萱野三平」の墓あり。(三平の姉が当寺15世住職に嫁いだ為)



⑤ 棕橋総社 (別称「鯉の宮」)

庄本町に鎮座する神社。



棕橋は猪名川・神崎川流域において重要な位置にあった。承久の乱発端の場所として知られる。(前回の講義を思い出されたし)



拝殿前の狛犬さん。顔が愛らしいと言うのでスマホでパチリ。ちなみにこの狛犬さんは“彼女”です。

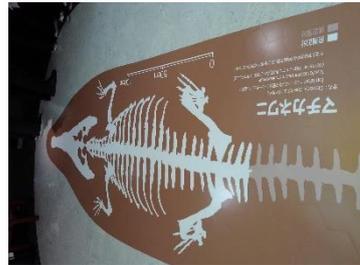
(頭に小さな角有り)

又当社には鯉伝説があり神使が鯉である。鯉塚があり、

広島カープファンが祈願に訪れる事もあるとやら。

⑥ 豊中郷土資料館

今 11 月にオープン。豊中に残る歴史・文化財に関する資料を保存・活用する施設。



入口すぐ床に横たわるマチカネワニの絵に誘われいざ展示室へ。

1～4章の時代に分かれて展示されていた。なかでも鉄製の甲冑は見るからに重々しかった。

⑦ 庄内神社



M40年島江村・島田むら・庄本村・稻荷神社、野田村・牛建村八幡宮、菰江村稜威天王社の七社を合わせ、庄内神社となる。

<感想>

今回は、前週の講義・“承久の乱”を受けた後の棕橋探訪。大変興味深かったです。たくさんの場所の見学で、ついつい半行動に遅れがちになりましたが、最後尾について下さったボランティアさんにご迷惑をかけました。ガイドのみなさんありがとうございました。